

# 定 例 教 育 委 員 会 次 第

令和 8 年 2 月 5 日（木曜日）

10 時 00 分～

## 1 開 会

## 2 前回議事録の承認

## 3 事務局報告（公開）

（１）第 80 回国民スポーツ大会冬季大会について

（保健体育課）

（２）次回定例会教育委員会について

令和 8 年 3 月 27 日（金）10 時 00 分～

（教育総務課）

## 4 議事（非公開）

付議第 44 号議案

県議会に提出する教育関係議案に対する意見について

（教育総務課）

付議第 45 号議案

県議会に提出する教育関係議案に対する意見について

（教育総務課）

## 5 事務局報告（非公開）

（１）第 36 回児童生徒に対する教育長表彰について

（学校教育課）

（２）第 46 回善行児童生徒表彰について

（学校教育課）

## 6 閉会



## 定 例 教 育 委 員 会 議 事 録 （ 案 ）

- 1 期 日 令和 8 年 1 月 16 日（金曜日）
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 参集者 甲斐教育長、加藤委員、飯盛（清）委員、飯盛（裕）委員、荒木委員、溝上委員、原岡副教育長、江島教育危機管理・広報総括監、横田副教育長、川崎教育総務課長、近藤特別支援教育室長、野口教職員課長、山口学校教育課長、高山生徒支援室長、江口保健体育課長 ほか

### 4 会議次第 別紙のとおり

### 5 会議の経過

#### (1) 開 会 14 時 00 分

#### (2) 前回議事録の承認

このことについて、甲斐教育長は会議に諮り、委員会は承認した。

#### (3) 議事

##### 【付第 38 号議案】

佐賀県立特別支援学校の就学区域に関する規則の一部改正（案）について

このことについて、議案書により近藤特別教育支援室長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

（近藤特別教育支援室長）

資料 38-1 をご覧いただきたい。佐賀県立特別支援学校の就学区域に関する規則の一部改正（案）についてご説明する。

佐賀県立特別支援学校における就学区域は、「佐賀県立特別支援学校の就学区域に関する規則」に定められており、これまでも特別支援学校及び分校の開校あるいは障害種の受入等に応じて、随時改正してきたところである。

資料 38-2 「1 現行の規則による就学区域」をご覧いただきたい。今回就学区域の変更を考えているのは、学校名を網掛けしている「大和特別支援学校」と「金立特別支援学校」の 2 校になる。

次に、「2 現状と課題及び規則改正の必要性」をご覧いただきたい。まず、「(1) 現状と課題」であるが、①にあるように、現行の規則において、佐賀市の就学区域については、知的障害は大和特別支援学校と定められている。就学区域に関する規則については、全文を資料 38-5・6 ページに載せている。後以てご確認いただければと思う。

次に②について、大和特別支援学校については、年々児童生徒数が増加していることから、校舎の増築等を行い対応しているところであるが、引き続き教室不足が課題となっており、大規模化・過密化が進んでいるところである。

続いて、「(2)規則改正の必要性」について、佐賀市の一部については、先ほど説明したとおり、大和特別支援学校における課題の改善を図るために、知的障害において就学区域を大和特別支援学校から、金立特別支援学校に変更する規則の一部改正を行うことが必要であると考えている。なお、現在金立特別支援学校の敷地内の知的障害のある児童生徒のための校舎整備については予定どおりに進んでいる。

資料 38-3 をご覧いただきたい。「3 佐賀県立特別支援学校の就学区域（現行と改正案）」である。資料 38-4 の表が、特別支援学校の就学区域の現行と改正案となる。下線で示しているように佐賀市については、知的障害において、大和特別支援学校が就学区域になっているが、これを佐賀市の一部について金立特別支援学校に変更したいと考えている。

資料 38-3 にお戻りいただきたい。「4 今後のスケジュール」についてご説明する。本日の定例教育委員会で承認を得たら、その後、3 月末までに公布、関係機関への周知を行い、施行は来年度、令和 8 年 5 月 1 日と考えている。

なお、補足になるが、資料 38-3 の表に挙げているとおり、現在佐賀市の一部から大和特別支援学校に就学している児童生徒は今年度 57 人いる。今回の就学区域の変更に伴い、この児童生徒すべてが金立特別支援学校への転学をするものではない。寄宿舎の利用や高等部におけるコース選択の意向、現在の大和特別支援学校での児童生徒の状況を踏まえ、保護者に丁寧に説明を行いながら、転学となる児童生徒を決定することになる。

#### 【主な質問等】

(飯盛（裕）委員)

大和特別支援学校は一期目のところに何度か行った覚えがある。教室が足りない、というところがあって県内で分散して受け入れているといったところであったようだ。より支援が必要な生徒が特別支援学校に行くというイメージでよいのか。

(近藤特別教育支援室長)

以前は比較的支援が必要な児童生徒については原則特別支援学校で受け入れることにしていたが、学校教育法等の改正により、状況によっては市町の学校でも受け入れが可能ということであれば総合的に判断するというように規則等が変わってきたところである。

(飯盛（裕）委員)

インクルーシブ教育がよく話題になるが、進めていくのも難しい状況だと思う。制度なのか、先生の数なのか、教室の数なのか、なかなか理解できていない状況である。

#### (4) 事務局報告

① 川崎教育総務課長は令和 7 年 11 月定例県議会における主な質問事項について、資料に基づき次のとおり報告した。

(川崎教育総務課長)

資料 1-1 をご覧いただきたい。令和 7 年 11 月定例県議会における主な質問事項につ

いてご説明する。11月定例県議会については、11月26日から12月16日までの21日間で行われ、教育関係議案は原案どおり可決されている。教育委員会関係の質疑はご覧のとおりで、一般質問で5項目（5名の議員から）、文教厚生常任委員会で2項目（2名の委員から）、高等教育機関問題対策等特別委員会で1項目（1名の委員から）質疑があった。

② 山口学校教育課長は第36回全国産業教育フェア佐賀大会について、資料に基づき次のとおり報告した。

（山口学校教育課長）

資料2-2をご覧ください。第36回全国産業教育フェア佐賀大会について、いよいよ開催の年となり、後282日となった。昨年10月には、令和7年度の全国産業教育フェアの開催地である福島県へ、生徒実行委員会と共に、次期開催県として参加し、大会旗を引き継いで来た。資料一番上の写真のように次年度の佐賀大会のPRはもちろん、各種競技で上位入賞をするなど、佐賀県勢は大活躍してくれた。

中ほどの写真であるが、観光ビジネスアイデアコンクールでは、1位、2位を獲得している。生徒による新しいアイデアや、それを伝えるプレゼン力の高さを全国に証明してくれた。次にロボット競技大会では、予選はミスなく、3位で本選に出場し、準決勝まで進むことが出来た。アイデア賞を受賞するなど、来年、上位入賞を感じさせる試合展開だった。フラワーアレンジメントコンテストでは、審査員奨励賞、介護技術コンテストでは、奨励賞を獲得した。引き続き、県内の競技力向上に取り組み、開催県として各競技で活躍できるように、支援していく。

また、広報についても動いている。資料一番左のポスターが、生徒が作成してくれたポスターとなっている。また、資料中ほどに載せている「そもそも全国産業教育フェアって何？」という方のために、大会内容が具体的にイメージできる2種類のポスターを作製した。また、公式サイトやInstagram、YouTubeなどを用いての情報発信など、様々な媒体での広報活動を始めている。是非ご覧ください。

最後に、この大会を地域の方々と一緒に盛り上げていくために、協賛を募集している。我々も企業を回って協賛を募集しているところである。お知り合いの団体へ御紹介いただければ幸いである。いよいよ開催年となった。今後も随時、報告させていただく。引き続きよろしくお願いしたい。

③ 江口保健体育課長は第33回全国中学校駅伝大会（結果）について、資料に基づき次のとおり報告した。

（江口保健体育課長）

資料3-1をご覧ください。第33回全国中学校駅伝大会については、令和7年12月14日に滋賀県希望が丘文化公園スポーツゾーン芝生ランドにて開催されている。本県からは男子は唐津東中学校（4年ぶり2回目）、女子は多久市立東原摩舎中央校（4年連続5回目）が出場した。男子は6区間18kmで競技が行われ、41位、女子は5区間

12km で競技が行われ 29 位であった。

④ 江口保健体育課長は男子 76 回・女子 37 回全国高等学校駅伝競走大会（結果）について、資料に基づき次のとおり報告した。

（江口保健体育課長）

資料 4-1 をご覧いただきたい。男子 76 回・女子 37 回全国高等学校駅伝競走大会については令和 7 年 12 月 21 日に京都府たけびしスタジアム京都付設駅伝コースにて開催されている。本県からは男子は鳥栖工業高校（16 年連続 50 回目）、女子は佐賀清和高等学校（2 年ぶり 8 回目）が出場した。男子は 7 区間 42.195km で競技が行われ、9 位、惜しくも 8 位入賞を逃した。女子は 5 区間 21.0975km で競技が行われ 42 位であった。

⑤ 江口保健体育課長は第 105 回全国高等学校ラグビーフットボール大会（結果）について、資料に基づき次のとおり報告した。

（江口保健体育課長）

資料 5-1 をご覧いただきたい。第 105 回全国高等学校ラグビーフットボール大会について、佐賀工業高校はシード校として、2 回戦から出場した。2 回戦は 12 月 30 日に東大阪市花園ラグビー場で行われ、昨年度敗れた大阪第一代表東海大学付属大阪仰星高校と再度対戦し、後半途中まで 6-0 とリードしていたが、試合終了 2 分前に逆転のトライとゴールキックを許し 6-7 で惜敗している。なお、大阪仰星高校はベスト 8 まですべて進出している。

⑥ 川崎教育総務課長は、次回定例教育委員会について、次のとおり報告した。

（川崎教育総務課長）

次回定例教育委員会は、2 月 5 日木曜日 10 時 00 分から開催する予定としている。委員の出席をお願いしたい。

## （5）議事

### 【付第 39 号議案】

令和 7 年度佐賀県教育委員会表彰の被表彰者について

このことについて、議案書により川崎教育総務課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

### 【付第 40 号議案】

令和 8 年度佐賀県立学校教職員配当基準（案）について

このことについて、議案書により野口教職員課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第 41 号議案】

令和 8 年度佐賀県市町立学校県費負担教職員配当基準（案）について

このことについて、議案書により野口教職員課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第 42 号議案】

いじめの重大事態の調査報告書を踏まえた教育委員会の対応について

このことについて、議案書により高山生徒支援室長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第 43 号議案】

佐賀県立武雄青陵中学校事故調査委員会からの調査報告書（答申）を踏まえた教育委員会の対応について

このことについて、議案書により高山生徒支援室長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(6) 閉 会      14 時 50 分





# 令和8年2月定例教育委員会資料

(令和8年2月5日)

## 報告事項

【公 開】

佐賀県教育委員会



## 第80回国民スポーツ大会冬季大会について

- 期 間 令和8年2月14日（土）～令和8年2月17日（火）
- 会 場 大鰐温泉スキー場（青森県大鰐町）
- 競 技 名 スキー（ジャイアントスラローム）
- 出 場 者 少年男子 <sup>こが ぜんいち</sup>古賀 禪一（敬徳高等学校3年）  
<sup>えがみ あきみち</sup>江上 瑛陸（佐賀市立城北中学校3年）  
少年女子 <sup>くりはら</sup>栗原 ひまり（鹿島高等学校2年）

